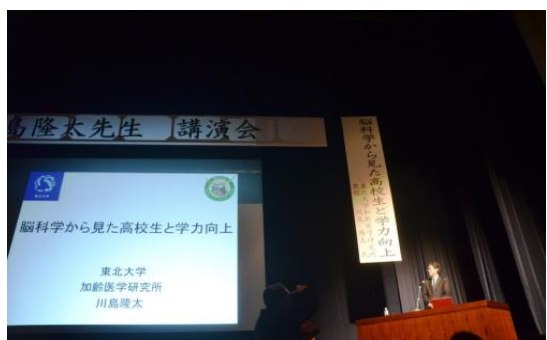


川島隆太先生による講演会

3月18日、「脳トレ」で有名な東北大学加齢学研究所の川島隆太教授にお越しいただき、「脳科学から見た高校生と学力向上」と題して、脳科学の立場から睡眠の効用とスマートフォン依存による弊害について講演をしていただきました。講演の後、鳳鳴生が参加してパネルディスカッションを行いました。近隣校の教員や中学生、一般の方々にも呼びかけて聴講していただきました。また、新入生は学習合宿で映像を通して聴講しました。この講演をきっかけに生徒のスマートフォンへの意識に変化が生まれています。

【講演の様子】



【パネルディスカッションの様子】



日本語によるディベート対戦！

5月28日と6月11日に、日本語によるディベートが行われました。授業内で準備する時間を取ることができず、昼休みや放課後に集まって準備をするのは大変だったと思いますが、実際の対戦は白熱し、どのクラスも盛り上がりました。

- ・裁判みたいで楽しかった。こんなに正面から対立することがないのでワクワクした。
- ・相手が納得するように、あるいは相手に伝わるように「わかりやすい表現」を心がけるようになった。
- ・相手に勝つためのスピーチを班員全員で考えるのが楽しかった。
- ・とても白熱していた。理屈での勝負に自分自身も興奮した。
- ・相手の痛いところをつけると、うれしくなる。
- ・色々な人の意見やものの考え方を知ることができて良かった。
- ・反駁に対する反駁もあれば、もっと面白かった。



2年部大学研究室訪問

2年部ではSSH事業の一環として、5月19日（火）に大学研究室訪問が行われました。秋田大学、秋田県立大学、弘前大学、弘前学院大学、ノースアジア大学、国際教養大学、岩手大学、岩手県立大学、秋田看護福祉大学など各ゼミごとに分かれて訪問をしました。事前に大学での質問内容について話し合っておき、大学の先生方としっかりと議論をするために準備を整えて臨みました。今回の訪問を通し、ゼミの研究内容を深めるための良い刺激となり、その中で新しい発見や疑問点を見つけることができましたようです。ワークシートの感想やアンケートの結果を見ても非常に好評でした。中には大学の研究内容に興味を持った生徒など、これからの進路選択に役立つ訪問になりました。

【ワークシートからの感想抜粋】

＜語学・国際ゼミ＞

・なぜ？という問いを大切にすると聞いて、これからのアンケートを考えるときに今までと違う視点から考えることができると感じました。歴史的なつながりや地理的なつながりに着目してこれからも研究に励みたいです。

＜教育学ゼミ＞

・今回のお話を聞いて心理学に興味を持った。大学入学後に心理学を勉強するのもよいと思った。ゼミについては今後の展望が開けて、どうしたらよいかめどがたった。いろいろな話を聞いてとても楽しかった。

＜芸術・体育ゼミ＞

・先生の話聞いて事前に質問した内容を分かりやすく講義してもらった。自分たちの求める内容に詳しく教えてもらいとてもおもしろかった。今後得た内容を自分たちのゼミに生かしさらに研究内容を深めたい。自分たちの部活動での技術向上にも役立てていきたい。

＜工学ゼミ＞

・自分たちはロボットの軽量化だけを研究してきたが軽くしすぎると風の影響を受けやすく、安定した飛行ができないと分かった。その他にもバッテリーの重さや、運べる物の重量制限や防水ではないことなどまだまだ考えるべき課題があると痛感させられた。

【岩手大学】



【弘前大学】



【国際教養大学】



【秋田大学】



【岩手県立大学】



【ノースアジア大学】

